

6月17日(日)に「中泊メバル料理グランプリ2018」が役場前特設会場で開催されました。このイベントは、中泊町のご当地グルメ「中泊メバルの刺身と煮付け膳」の3周年の記念と、「メバルでまちおこし」を推進するため開かれました。メバルを使った料理10品目が用意され、食べた人の投票によってグランプリを決めました。料理を提供したのは、中泊町のご当地グルメ「中泊メバル膳」の開発・提供に携わった7団体です。「中泊町ふるさとイメージアップ大使」の横山ひできさんがかけつけ、会場を盛り上げました。創作メニュー提供7団体からの決意表明のあと、「いただきます宣言」でイベントがスタートしました。お昼時を前に役場前駐車場はいっぱいになり、役場前特設会場内のテーブル席も満席となりました。

また、この日はエフエム青森「産地直送旅番組津軽へ行く!!」の公開録音がありました。濱館町長がゲスト出演し、歌を交えて町のPRをしました。

また、平成30年度第1回青森県未来創造塾が、同日に役場で開催されました。青森県未来創造塾は将来を担う若手職員の育成と人的ネットワーク構築を目的として、年に4回ほど開催されます。今回は、濱館町長の講演が行程に組み入れられ、はんとんとメバルの被り物という派手な格好で塾生の前に登場をすると、塾生たちは意表を突かれたような表情をしていました。いざ講演が始まると、「地方創生について共に学び、共に考え、未来を切り開くために」の内容に塾生たちは真剣に聞き入っていました。

中里高校SBPメンバーも頑張りました。メバルをかたどったたい焼きの「メバ焼き!」を販売し、過去最高の300個以上を売り上げました。



グランプリの結果は次のとおりです。

●グランプリ

卓立水産 「中泊メバルの^{にここ}煮凝りワンタンラーメン」

●準グランプリ

おさかな海岸 「中泊メバルの^{そば}天ぶら蕎麦」

●3位

仕出し処隆佐 「中泊メバルの^{あん}つみれ餡かけごはん」

グランプリを受賞した卓立水産の「中泊メバルの煮凝りワンタンラーメン」とおさかな海岸の「中泊メバルの^{そば}天ぶら蕎麦」は店舗で期間限定で販売されます。卓立水産は提供できる店舗がないため「くつろぎダイニング 哲。」で販売されます。ワンタンラーメンは7月14日(土)まで午前11時30分～午後2時と午後6時以降に販売され、7月15日(日)からは午後5時以降のみの販売です。^{そば}天ぶら蕎麦は「おさかな海岸」で7月6日(金)から8月31日まで、1日20食の限定販売です。

【お問合せ】中泊メバル料理グランプリ実行委員会
(役場水産商工観光課内) Tel. 57-2111



グランプリのワンタンラーメン

